



# さかいっこ かけはし通信

No.12 2026.5

堺市幼児教育センター



今年度は、堺市共通版「架け橋期のカリキュラム」の試行実施期間です。先日、第1回幼保小合同研修会を開催し、439名の先生方が参加されました。カリキュラムの内容や試行についての説明、令和7年度幼保小接続支援事業の指定校からの実践発表、架け橋連携グループにおける今後の取組についての話し合いなどを行いました。今号では、カリキュラムの試行実施について掲載します。

## カリキュラムの試行の目的

## 試行の進め方

こどもをまん中に、  
幼保小の先生方が語り合  
うことが一番大切だね。

実際のこどもの姿か  
ら育ちや学びのつな  
がりを捉え直す

幼保小の相互  
理解を深める

こども

保育や授業  
の改善

各学校園の実態  
に合ったカリ  
キュラムの形を  
見つける

- 1 こどもの実態から、各校区での「めざす架け橋期のこどもの姿」を話し合しましょう。（第2回幼保小合同研修会でも話し合いの場を設定します。）
- 2 重点取組を決めましょう。（①～④）

### ①相互参観後に幼保小で、ともに討議。

相互参観後に合同討議会をすると、保育者や授業者の意図を聞くことができるので保育や授業のねらいがよくわかります。また意見交流をすることで、支援の仕方についてよかった点や改善点が見え、今後に生かすことができます。

### ②実践事例「遊びや学びのプロセス」を5歳児と1年生で各1枚作成し実施。

「遊びや学びのプロセス」づくりは、こどもの思いを実現する保育・授業づくりそのものです。こどもの興味や関心が主体的な学びにつながるように、「思いや願いをもつ」「活動や体験をする」「感じる・考える」「伝え合う・振り返る」のキーワードをもとに案をつくったり、実践後に整理してまとめたりしてみましょう。

堺市共通版「架け橋期のカリキュラム」の内容は、必ずこの通りに実施しないといけないというものではないよ。各学校園の実態に応じて、工夫しながら取り組んでみてね。

幼保小接続を  
さらに一歩進めるために、  
架け橋連携グループで  
今年度取り組んでみたい  
のはどれかな？

### ③1つの単元について幼保小で指導案を検討し実施。

幼保小合同で1つの単元について学習指導案を作成することで、就学前施設の先生方には授業の内容やねらいがよくわかります。また、遊びが学びにつながるように、環境構成や、こどもの思いの見取りを大切にしている就学前施設の先生方の意見を取り入れることで、小学生の学習活動が充実し、学びが深まります。

### ④共通版カリキュラムの文言や写真を実践したもの等に入れ替え、振り返りを実施。

共通版カリキュラムの内容を参考にしながら、校区の学校園の実態に応じて実践した内容を振り返り、整理しながらカリキュラムに記載していきましょう。共通版カリキュラムの文言や写真と入れ替えることで、校区版のカリキュラムにつながっていきます。



堺市共通版「架け橋期のカリ  
キュラム」の詳細はこちらの  
二次元コードから

どの取組も、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」を手掛かりとしながら行うことで、幼保小のつながりが見えてきます。